

学科・実技試験の出題範囲

分野共通	審査項目			
学科試験	等級種別			
範囲	項目	ジュニア ジュエリー マスター	プレ ジュエリー マスター	ジュエリー マスター
1 宝飾史	次の知識を有すること (1)ジュエリー文化史 ・ 起源からの変遷 ・ 風土と発達の歴史 (2)ジュエリー産業史 ・ 起源からの変遷 ・ 風土と発達の歴史	左記項目の 基礎的な知 識について 実施	左記項目の 専門的な知 識について 実施	左記項目 のより専 門的な知 識につい て実施
2 マネジメント	次の知識を有すること (1)作業管理 ・ 作業管理の仕組み			
3 ビジネス (マーケティング)	次の知識を有すること (1)流通 ・ 販売の仕組み ・ 消費者の価値判断 ・ 情報の役割と活用 ・ 企画の役割 ・ 知的財産の役割 ・ 製造者の責任 (2)素材 ・ 宝石の名称及び判別 ・ 貴金属の名称及び判別 ・ 宝石の特性 ・ 貴金属の特性 ・ 宝石の処理技術と役割 ・ 貴金属の処理技術と役割 (3)商品 ・ 商品の役割 ・ 品目及び用途 ・ 製品の製造 ・ 製品の保護及び管理			
4 デザイン	次の知識を有すること (1)造形 ・ 素材と構造の関係 ・ 構成の役割と仕組み ・ 色彩の役割と仕組み ・ CAD の役割と仕組み (2)伝達 ・ 企画書の役割と仕組み ・ 遠近法の役割と仕組み ・ スケッチの役割と仕組み			

5 プロダクト (宝石加工)	・ レンダリングの役割と仕組み ・ デジタルデータの役割と仕組み 次の知識を有すること (1)加工 ・ 工具及び設備の仕組み ・ 宝石加工技術の仕組み ・ 薬品の役割と仕組み ・ 接合材の役割と仕組み ・ 研磨材の役割と仕組み ・ 表面処理の役割と仕組み (2)保守と管理 ・ 工具の保守と管理 ・ 薬品の管理 ・ 施設設備の保守と管理 ・ 作業の安全管理			
(貴金属加工)	次の知識を有すること (1)加工 ・ 工具及び設備の仕組み ・ 貴金属加工技術の仕組み ・ 薬品の役割と仕組み ・ 接合材の役割と仕組み ・ 鑄造材料の役割と仕組み ・ 研磨材の役割と仕組み ・ 表面処理の役割と仕組み (2)保守と管理 ・ 工具の保守と管理 ・ 薬品の管理 ・ 施設設備の保守と管理 ・ 作業の安全管理			

宝 石 加 工	※ 1 級宝石研磨士、伝統工芸士（甲州水晶貴石細工）は免除			
実 技 試 験	審 査 項 目			
範 囲	項 目	等 級 種 別		
		ジュニア ジュエリー マスター	プレ ジュエリー マスター	ジュエリー マスター
1 宝石加工 （カボッション） （丸玉） （ファセット） （彫刻）	次の技能を有すること (1)石取り ・切断位置の決定 (2)切断 ・大割切断（スラブソー） ・小割切断（トリムソー） (3)粗取り（研削） ・グラインダー ・細工機 ・平面研磨研削機 (4)中摺り（研削） ・グラインダー ・細工機 ・平面研磨研削機 (5)仕上げ摺り（研削） ・グラインダー ・細工機 ・平面研磨研削機 (6)研磨 ・グラインダー ・細工機 ・平面研磨研削機	左記項目の 基礎的な技 能について 実施	左記項目の 専門的な技 能について 実施	左 記 項 目 の よ り 専 門 的 な 技 能 に つ い て 実施
2 作業環境の管理	次の技能を有すること (1)環境の安全維持 ・作業と用具の管理			

宝 飾 加 工	※ 1 級技能士（貴金属装身具製作）は免除			
実 技 試 験	審 査 項 目			
範 囲	項 目	等 級 種 別		
		ジュニア ジュエリー マスター	プレ ジュエリー マスター	ジュエリー マスター
1 地金加工	次の技能を有すること (1)切断 ・糸ノコ (2)切削 ・ヤスリがけ ・穴あけ (3)接合 ・ロウ付け ・かしめ (4)部品の制作 ・腕（リング） ・石砕 ・爪 ・クラスプ、フック ・くさり ・ピン (5)形状の制作 ・図面の再現	左記項目の 基礎的な技 能について 実施	左記項目の 専門的な技 能について 実施	左記項目の より専門的 な技能につ いて実施
2 ワックス加工	次の技能を有すること (1)形状の制作 ・図面の再現 ・サイズと縮小率 (2)ロストワックス鑄造法 ・行程			
3 石留め	次の技能を有すること (1)石留め ・爪留め ・覆輪留め ・彫り留め			
4 仕上げ	次の技能を有すること (1)研磨 ・研磨材 ・バレル研磨 ・リユーター ・バフ (2)表面処理 ・メッキ処理			
5 作業環境の管理	次の技能を有すること (1)環境の安全維持 ・作業と用具の管理			